

令和5年度 道徳教育全体計画

三原市立幸崎小学校

学校教育目標

自ら伸びる ともに伸びる 子どもの育成

児童の実態

- ・低学年の児童に対して優しく接することができる。
- ・自分の意見や考えを積極的に表現することができにくい。

めざす児童像

夢や志をもち、自分や友達よさを認めて関わり合いながら、目標に向けて自ら考え行動する児童

育てたい資質・

- ・幸崎思考力

[道徳教育の重点目標]

- 学校の決まりを守ることや日常の人間関係などを通して、道徳的な判断力・心情・実践意欲と態度を育てる。
- 道徳的諸価値についての理解をもとに、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めさせる。

[低・中・高学年別重点指導目標]

低学年	中学年	高学年
○ 善悪の判断, 自律, 自由と責任 A- (1)	○ 友情, 信頼 B- (9) ○ 勤労, 公共の精神 C- (13)	○ よりよい学校生活, 集団生活の充実 C- (16)
○ 規則の尊重 C- (10)	○ 生命の尊さ D- (18)	○ 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度 C- (17)
○ 生命の尊さ D- (17)		
希望と勇気, 努力と強い意志 A- (5)		

道徳教育推進教師を中心とした協力体制の整備

- ・ 協力的な指導体制の工夫
- ・ 各担当者との連携
- ・ 道徳的実践意欲を喚起できる校舎内外の環境整備
- ・ 家庭・地域との連携 (学級・学校便り)

特別な教科道徳の時間の工夫

- 道徳参観日の実施 (11月)
- 校内研修の実施 (4・8・10月)
- ・ 「道徳教育全体計画」について
- ・ 資料分析と発問構成について
- ・ 道徳参観日の指導案検討
- ・ ゲストティーチャーの参加について

特色ある教育活動

- ・ 縦割り班活動 (学期1回)
- ・ 全校合奏・合唱 (11月)
- ・ 老人会との交流 (7・1・2月)
- ・ 読書祭り (4月)
- ・ 奉仕活動 (11月)

支持的風土のある学級・学校づくり

- ・ 温かな人間関係の醸成

各教科

- ・ 学習内容・学習習慣の定着
- ・ 目標に向かって計画的・持続的な学習を行う能力と態度の育成
- ・ 問題解決能力の育成

総合的な学習の時間 (キャリア教育)

- ・ 体験的な学習・自分の生き方を考える学習・郷土への理解を深める学習等を通して創造的・共同的に取り組む態度の育成

外国語活動

- ・ 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成
- ・ 異なる文化をもつ人との交流体験を通して言語や文化に対する理解

特別活動

- ・ 望ましい集団活動を通して道徳的判斷力・実践力の育成
- ・ 学校行事
- ・ 学級活動
- ・ 児童会活動
- ・ クラブ活動

ことばの教育

- ・ 自分の考えの根拠を明確にして発言できる力の育成
- ・ 自分の考えを適切に文章にまとめる力の育成
- ・ 自分の考えと比べながら聞く力の育成

地域社会との連携

- ・ 地域の人材を積極的に活用
- ・ 年間各学年1回の人材活用
- ・ 道徳参観日への参加 (11月)
- ・ 地域奉仕活動 (11月)

家庭との連携

- ・ 保護者と共に進める道徳教育の推進
- ・ 学級・学校便り・PTA総会 (4月)
- ・ 学級懇談会での話 (9月)
- ・ 道徳参観日 (11月)
- ・ 教育講演会 (1月)

幼保・小・中連携の推進

- ・ 小中連携教育の推進・新入学児童との交流
- ・ 教科による児童生徒の交流
- ・ 幼保小(6・12月)新入学児の体験入学 (1月)との日常的なふれあい

道徳研修年間計画

実施月日	研究内容	助言者 (講師名)
4月 6日(木)	「道徳教育年間計画」について	道徳担当者
7月27日(木)	道徳研修「資料分析と発問計画」について	道徳担当者
8月16日(水)	道徳参観日の指導案検討	道徳担当者